

"To acknowledge the duty that accompanies every right"

Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs



THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

Oct. 1984 III - 4

THEME (1984~'85)

- I. P. 「今こそ行動のとき」
- R. D. 「限りなき熱情を奉仕に」
- D. G. 「奉仕と誠をもって前進しよう」
- P. 「創ろう新しい伝統を」

1984 ~ 1985 役員

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 会 長 | 中村隆幸 | 書 記 | 堀 利満 |
| 副会長 | 山田孝彦 | " | 藤井保男 |
| " | 長安敏夫 | 会 計 | 柴田 健 |
| 直前会長 | 山中秀男 | 担当主事 | 田中稔二 |

◆ 「国際理解 (IBM・YEEP) の月」 強調月間 <日本区>

10月例会・プログラム

と き 10月17日(木) 18:30~20:30

ところ 大阪YMCA会館 9階集会所

司会 照屋貞夫君

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 開 会 | 中村会長 |
| 2. ワイズ・ソング | 一 同 |
| 3. 聖句朗読 | 藤井保男君 |
| 4. ゲスト紹介 | 中村会長 |
| 5. 食前感謝「日々の糧」読さん | 一 同 |
| 6. 役員会報告 | 中村会長 |

7. ゲスト・スピーチ「ビジネスマンは二度爆笑する!!」
ライオン商事物産副社長 山下広蔵氏
(元大阪サウス、東京武蔵野クラブ・ワイズ)

- | | |
|--------------------|-------|
| 8. 誕生日のお祝い | 中村会長 |
| 9. ドアブライズ・タイム | 黒田巖之君 |
| 10. 委員長報告・YMCAニュース | |
| 11. 閉 会 | 中村会長 |
- ▽例会当番(桂, 谷川, 照屋, 藤井, 安福, 山村)

ゲストスピーカー “山下広蔵氏のプロフィール”

大阪生れ、大阪育ちの生粋の浪速っ子

昭和21年大阪商大を卒業後、ライオン歯磨本舗小林商店(現在のライオン株式会社)に入社、以来主として営業畑を歩いて38年、本年3月、同社常務取締役からライオン商事株式会社副社長に転出した。

洒落論文で商大予科を修了したという根っからの駄洒落人。昭和25年頃から大阪日日新聞の「ウソ横丁」にやみつきとなり、約10年間投稿を続けた常連、当時の世相の移り変わりを豆コトで見事にポイント・アウト、人々の心に強く印象づけたことは、あまりにも有名である。

昭和53年、社内愛好家と語って「ライオン寄席」を誕生させ、社内に「笑いの震源地」をつくった。お蔭で今や同志30名が相変わらず集ってはユーモアと駄洒落を心ゆくばかりエンジョイしている。昨年日本経済新聞文化欄に「冗談抜き駄洒落人生」が掲載され、一躍時の人となり、関係者から乞われて本年1月自著「ビジネスマンは二度爆笑する」を出版と相成った次第、自らも南茶亭気楽と名乗り、それこそ若い者顔負け、常に「必勝仕事人」を目指してさわやかに邁進中、たのしい限りである。

かって大阪サウス、東京武蔵野クラブのメンバーとして活躍、大阪、東京のワイズ仲間にはお馴染みのメンバーも多い。(63才)

杉本恭之助 記

◆ 第2例会

と き 10月24日(水) 18:30~20:30

ところ YMCA国際・社会奉仕センター

終了後 “ワインで乾杯” タイムを

予定しております。

◆ 誕生日おめでとう

山村利子 メネット 10月 9日

安福節子 メネット 10月 17日

藤本まち子 メネット 10月 20日

正司泰子 姉 10月 24日

▼ 9月例会の主な記事

◎当月は、わがセンテナアルクラブの本拠地である国際・社会奉仕センターより、ゲストとして斎藤千宏氏を迎え「草の根 — 海外協力のすすめ」のテーマで、スライド上映をまじえ講話を頂いた。

実際にご自分で体験されての内容であったため、話の節節にも迫力があり、サラワクの生活様式や、女性の地位等現地の状況をよく知ることができ、また海外技術協力の重要性も深く認識することができた。



現地の実情を熱心に説明される斎藤氏

◎長期にわたり米国等海外での活動を終え、無事帰国された鈴木謙介、芙蓉夫妻のお元気な姿が久しぶりにみられ、「アメリカ帰国報告」のテーマで豊富な活躍ぶりが報告された。

また、一緒に同行された大阪クラブの三井満寿雄、喜子夫妻も元気な姿を見せられ、84才とは思えない青年のような態度、口調で、アメリカでの活躍ぶりが紹介された。



日本を誇るワイズメンとして大活躍されてきた三井氏

Psalm 23

The Lord is my shepherd, I shall not want,
He makes me to lie down in green pastures,
he leads me beside the still water.
He restores my soul, he leads me in the way
of righteousness for his name's sake. Even
though I walk through the valley of the shadow
of death, I will fear no evil: for you are
with me.

詩篇第23篇

主はわたしの牧者であって、私には乏しいことがない。
主は私を緑の牧場に伏せさせ、憩のみぎわに伴われる。
主は私の魂を生きかえらせ、み名のためにわたしを正しい道に導かれる。
たとえ私は死の陰の谷を歩むとも、禍を恐れませんが、
あなたごがわたしと共にいられるからです。

9月例会出席者（在籍会員34名）

	第1例会	第2例会	Make up	累計
メ ン	21名	11名	2名	23名
出席率	61.76%			67.65%
メ ネット	2名			
コメ ット				
ゲ ス ト	2名			
ヴィ ジ タ ー	3名	1名		
合 計	28名	12名		

○ゲスト 斎藤千宏氏（YMCA国際・社会奉仕センター）
中繁芳久氏（西出君）

○ヴィジター 三井満寿雄、喜子夫妻（大阪クラブ）
森本 武君（大阪サウスクラブ）
川久保嘉史君（土佐堀クラブ）

○メネット 鈴木、山中 各メネット

▼ 8月例会出席率の修正

鈴木謙介君 8月 国際大会他に出席
従って、8月度出席者数を23名に、出席率を67.65%
に修正します。



今月の聖句に寄せて

黒田 巖之

今月は旧約聖書の中の詩篇から選びました。この23篇は有名な句で、屢々引用されています。「主」「あなた」はこの聖句の中では神を意味します。特に解説は不用だと思いますが、詩篇の作者の神への絶対的信頼の気持が歌われています。

英文は、手許にModern English による訳文がなかったために King James Version を私が現代語にかえました。誤りがあればご指摘下さい。



▼ 第2例会の記録

1. 新年合同例会について

1月12日(出) 17:00~20:00 の企画について打合せを行い、スケジュール、議事、運営方法、会費等について検討した。

なお、第1報については、10月中旬をめどに発信することになった。

2. 近隣クラブの訪問について

10月度は次のように計画しましたので、それぞれの引率者(リーダー)へ連絡をとり、積極的に参加して下さい。

10月4日(木) 和歌山紀の川クラブ(於和歌山市民会館)
引率者:杉本君

10月10日(祝) 千里クラブ(於千里阪急ホテル)
引率者:山中君

10月16日(火) 土佐郡、豊中、サウス合同例会
(於YMCA会館) 引率者:山田君

10月18日(木) 堺クラブ(於堺YMCA)
引率者:鈴木君

3. 10月度プログラムの確定

▼ 連絡事項

◎ BF切手整理会を行います。

10月21日(月) 14:00~17:00にYMCA国際・社会奉仕センターにて行いますので、メン・メネットとも多数の参加をお願いします。なお、当日はビル休館日につき正面入口のシャッターが締まっていますので、裏側入口よりお入り下さい。

◎ 10月例会ドアプライズ用献品のお願い

当月は久しぶりにドアプライズを企画しました。愉快地楽しいひとときを過ごすため、献品をお願いします。例会出欠用ハガキの下欄に献品数をご記入下さい。

◎ 西出宏君の転会について

我がセンテニアルのフィフティーズとして、また会計担当として大活躍中の西出君が9月末をもって、東京クラブへ転会することになりました。甚だ残念ですが、東京での活躍を祈念します。

なお、後任については、浦野啓一君を選任致したく、10月例会にはかる予定です。

▼ お知らせ

◎ “ワイズチャリティーディナーショー”の開催について

おとなりの土佐堀クラブ主催による表記のショーがこの11月の第2土曜日に企画され、日本区大会で実行委員長をつとめられた井沢俊之君を中心に目下鋭意準備中のことです。

当日は、もと宝塚歌劇のスター=風かおる=さんをお迎えしてシャンソンを楽しむと共に、豪華なスペシャルメニューの食事が準備されます。できるだけ時間をつくり、センテニアルからも大いに参加しましょう。

日時 11月10日(土)PM6:00~8:30
場所 YMCA 2F 大ホール
会費 ¥10,000.-

◎ 中西部CS事業・IBC事業合同委員会の開催について

表記の会が開催されますので関係者は出席して下さい。

日時 10月20日(土)PM2:00~
場所 YMCA国際、社会奉仕センター
会費 1人 2,000円(軽食代共)

YMCA ニュース

▼ 日本から3,000名の青年を招待したいという中国からの要請で実現した日中青年交流団については新聞などでご承知のことと思いますが、全国のYMCA・YWCAからも団員が参加しましたが、大阪Yからは団長として平田哲氏(常議員)と職員1名が参加しました。

▼ 世界YMCA同盟会長ジェームス・ラブ氏(スコットランド出身)がこの程大阪YMCAを訪問されることになり、10月22日(月)夜に同氏を囲む晩餐会が開かれます。

▼ 世界にあるYMCA・YWCAは毎年11月第2週の日曜日から1週間を合同祈禱週として、祈りの時をもちますが、本年度のテーマは“希望”です。どうぞ世界の人と共に祈りにご参加下さい。

中西部に 出席して

山中 秀男

秋晴れの9月23日 日曜日と秋分の日が重なり出足良く近鉄あやめが池、松下電工労組研究所 奈良アロースクエアで開催された。韓国からのゲストを入れ総勢200名の出席、大阪センテニアルから中村隆幸、鈴木謙介、メネット、堀利満、コメット、田中譲二、谷川寛、安福又四郎、杉本恭之助、山中秀男の10名は好成績の部類。10時礼拝で始り献金は中西部恒例の田辺Y'sが熱心に推めているナショナルトラスト運動天神崎にされた。昭和49年天神崎に高級別荘地を開発すると計画が発表され地元市民がこの自然の宝庫を残そうと立上ったのが始りで、日本に於けるナショナルトラスト運動の先駆です。全国からの募金はこの4月現在で2万数千人から1億が寄せられ県と田辺市の補助金を加えて第3次の買上げを済めた。残りの8千万円を来年3月までに持ち主に支払わねばならぬという。多層さんの説明も熱を帯びる。当日の献金は約8万、海と磯、森が一体となり黒潮の先端に洗われ頼まれぬ生態系を形成している天神崎の宝が0.1多守られた額になった。

議事の始まり、中西部部長戸良美君(奈良クラブ)挨拶は「奉仕と誠をもって前進しよう」のモットー通り人の心をつつものであった。国際議員の紹介で当クラブ現国際議員の谷川君、元国際会長の鈴木君の二人が拍手をあびた。

外国からのゲストは豊中クラブのB、C、韓国全州と、奈良クラブのB、C、韓国慶州花郎クラブ 共にあてやかなハッピーに進駐軍スタイルの帽子をかぶり日本語で挨拶、特に全州クラブの会長は豊中クラブから贈られた日本猿が猿算式に増え総勢25匹、近隣の動物園に引取られ日韓親善の実を上げているという。

Y'sは見よう、聞こう、云おうで相互理解を深め不幸な事態の反省を再びしてはいけない。

昼食後、センテニアルの面々(杉本、谷川、山中等)芝生にあぐらをかいて他クラブ メン、メネットと歓談、午後の講演は国立文化財研究所、飛鳥資料館学芸室長、猪熊兼勝先生「ファイバースコープから覗いた亀塚古墳あれこれ」。早口ながらスライドを使っての講演は朝鮮半島の古墳の特長を大和のそれに類推され面白い古代大和朝廷のロマンを飛鳥の地で目をつぶって聞くのも悪くない。草壁皇子が暗がりの中から出て来そうな話振りであった。

＊

中西部会(9月23日)への当クラブよりの出席者は 中村会長以下鈴木夫妻、杉本夫妻、田中君、谷川君、安福君、山中君、堀君とコメットの合計11名でした。

大阪YMCA夕べのつどいに 出席して

谷川 寛

去る9月28日(木)夕、"大阪YMCAの夕べのつどい"があり、木下幸男先生(大阪女学院名誉院長)による「目標のある人生」と題するお話がありました。「日本には本当の教育がない」「日本の家庭には宗教が生きていない」などのユダヤ教ラビ、マービン・トケイヤ氏の発言を引用して、私達の毎日の生活に迫り、「目標のある人生」を歩むことの意義を強調されました。

当クラブからは横山メン、メネット、コメット、谷川メン、メネットが出席しました。横山、谷川両メネットは、木下幸男先生の教え子。なお、大先輩の鈴木メネットの出席がなく残念でした。大阪土佐堀、大阪両クラブから多数の参加がありました。当クラブからも、YMCAのプログラムへの積極的参加が望まれます。

強調月間について

強調月間は、毎年国際会長より指示があり、これをもとにして日本区で決められ、各クラブへ連絡されて各月のプログラム編成時に反映されております。

今年度は既に3か月が終わり、当月は「国際理解(IBC、YEEP)の月」になっております。また11月以降は次のような項目になっておりますので、各担当の委員の方はそれぞれの事業委員長を中心に、活動計画をたてられ、クラブをあげて活動に精励しましょう。

1984年 11月	YMCA-ASFの月
12月	キリスト教強調・ブリテンの月
1985年 1月	EMC強調月間
2月	CS(TIME OF FAST)の月
3月	BFの月
4月	ワイズメネットの月
5月	リーダース・トレーニングの月
6月	身体障害者への奉仕の月

